



葦山南小学校
学校だより



発行 令和7年 3月 第11号

「地域に信頼され、地域とともにある学校」をめざして

多様な人々と協働し新たな価値を創造できる子供に

校長 土屋 貴俊



先日実施した6年生を送る会では、どの学年からでも「ありがとう」の思いが伝わる素晴らしい会となりました。5年生が企画運営し、全校の子供たちと協働し創りあげました。感動して涙を流す子供たちもたくさんいて、全児童の心が一つになれた瞬間を感じました。

さて本校は、地域保護者の皆様の温かいご支援のおかげで地域の人・もの・こととつながりそのよさや価値を学ぶことで、地域を愛し地域で頑張っている人や先人が残してくれたものを誇りに思う子供たちがたくさん育っています。

次年度はさらに子供たちが主体的に学んでいくことを目指します。そのために、他者から与えられた課題や知識を得る学びだけでなく、①自分で課題を見つけたり、仮説を立てたりする ②課題(仮説)を解決(検証)するための方法を考える(どんな方法で誰と解決するのか) ③他者と対話することで多様な考えや思いを知り、自分と比べるなかで考えを深める④自分たちでできることを考え、その思いを他者に発信する等の活動に取り組んでいきます。そこで以下のような取組を保護者や地域の皆様と連携協働しながら実施していきたいと考えています。引き続きご支援ご協力をお願いします。

(1) 誰もが安全で安心できる学校・地域づくりを目指して

- ① 防災キャンプ5年生(自然教室からの変更)6月19日(木)20日(金)実施
一泊二日(学校)で身近で起こりうる災害の種類や対応の仕方について学びます。災害発生時に衣食住の生活がどうなるのか、そのために事前に準備することは何か。さらに他者との関わり等について自分ごととして考えていきます。また、地域の防災訓練への積極的な参加を呼びかけ、将来地域のために活躍できる子供の育成を目指します。

② 共生社会実現を目指す取組

- ・デフリンピック(自転車競技)4年生観戦11月17日(伊豆市)
- ・伊豆の国特別支援学校・東部特別支援学校との児童交流・その他

③ 架け橋プログラムの推進(保幼小園年長児と一年生との連携教育)

1年生が安心して学校生活を送り、園でのあそびが学校での学びに生きてつながるように共和幼稚園と行事を共同開催し、連携を図ります。

(2) 早寝早起き(眠育)の推進 学校保健委員会「眠育講座」11月28日(金)実施
睡眠時間が心身の健康に大きく関わっていることが「心の健康観察」の結果から分かっています。睡眠の大切さをみんなで考え生活習慣を見直すきっかけにします。

(3) 国際理解教育

モンゴルの児童との交流のほか、英語でのコミュニケーションの場を増やします。

(4) 地域探究学習

地域の産業に携わる人々の思いや、地域の歴史等の学習から地域がさらに活性化し発展していくために自分たちができることを考え、発信していきます。

